

みなさんの日々の学習をサポートします!!

学習のヒント!

みなさん、いかがお過ごしですか? 学習ははかどっていますか?
このページは日頃一人で学習をすすめているみなさんに役立つよう、学習のコツや
卒業生からのアドバイスを掲載しています。ぜひ日々の学習にお役立てください。



レポートについて

Q レポートをうまく書くにはどうしたらいいでしょう?

A 通信学習の中で、最も戸惑うものの中に、レポート提出があげられると思います。通常生活をしている中では、なかなか習得できないスキルが必要とされ、どうしたらよいかわからない方もいるかも知れません。ここに卒業生の方達のレポートの書き方、進め方、コツや感想などをいくつかご紹介しますので、ぜひ参考にしてください。

- ・レポートは、設題によって簡単なものや難しいがあるので、書きやすいのを選んだ方が良いでしょう。レポートを書く時は、序論、本論、結論に分けて考えた方が良いでしょう。再提出になっても、めげずに何回でも出して頑張り! やればできるっ!!
- ・とにかくいい文献を探す。いい文献を見つけるのに時間をかけたほうが、レポートを仕上げるのに近道だと思います。内容が薄い、わかりづらい文献ではいつまでたってもレポートは仕上がりにません。
- ・いろんな本を読んでみて、大事だと思うところをPCに入力するなどしておく。まとめるときに、まずは字数を気にせずまとめて、そこから何度も読み返したり、本を見たりして推敲していく。出来上がったレポートを他人に読んでもらうと、自分では気づかない

ケアレスミスなどが見つかったり、文章のつながりがおかしいなどと指摘してもらえるのでよいと思う。

- ・参考文献を読み大事だと思うところを書きぬいて、自分で理解する。そして、自分の言葉で順序よく書く。最後に、余分な言葉や同じような文章をそぎおとしてまとめる。
- ・レポート書いても、すぐ大学へ送らない。数日たったら読み返す。すると誤字・脱字・語の使い方が見えてくる。
- ・課題を何回も読むと何を求めているか、何を言いたいか分かるようになる。
- ・シラバス等を読んでポイントを探る。
- ・レポートは課題が求めていることを明確に述べて下さい。動機、理由、結論をテーマに沿って記してみてください。文献は多ければよいというものではありません。
- ・引用文献は必ずページ数などもきちんと書くこと。

- ・レポートに一回落ちても、おちこまずレポートのコメントを読みその場所をなおすといいかも!!
- ・担当の先生や設問により、文章の組み立て方についての評価が変わってくるので、設問をよく読み取り、再提出の時には評価を理解した上で書いていくといいと思います。
- ・「大学生のレベルではない!」「量が足りません」「参考文献が古すぎてダメ!」などキツイ事も書かれましたが、反対にその部分を直せば大丈夫!と考え、頑張っ
てほしいです。
- ・教科書、文献を読む。字を丁寧に書く。戻りの遅いレポートは早く請求した方がよいと思う。
- ・再提出の時には、参考文献を沢山記入することをお勧めします。
- ・再提出になるとかなりショックをうけますが、あきらめずに提出して下さい。教科書だけでなく、沢山の参考文献を使って下さい。
- ・いろんな文献を読んで、たくさんの方の考え方を知ると、レポートがより書きやすくなるかと思ひます。
- ・その調べるものについて、人に説明することができるぐらいに理解して書く。全く分からない第三者に読ませても分かるように、分かりやすくまとめて、自分の考えも入れる。
- ・小さな目標を少しずつ立てる。「〇日までにレポートの下書きを終わらせる」など。
- ・序論、本論、結論に分けて文を組み立てる。
- ・レポートは、いっきに勢いで終わらせてしまった方が
良いです。私は、下書きは、パソコンでレポート用紙
と同じ書式をワードで作って打ち込んで文字数の調
整や段落ごとのまとまりの確認などをしていました。
そして、まずは、自分にとって馴染みやすい課題を
できるだけ選んで、その課題の中で章(段落)の見出し
だけを番号を打って入れて、その後その章ごとに深く
まとめるといいうやり方でやりました。起承転結にま
とめて述べると非常にわかりやすく見やすいレポー
トになったと思います。参考文献は、インターネット
で課題の内容に沿ったものを下調べしてから、予約し
て図書館で借りたり効率良くやることで、スムーズに
レポートが書けました。
- ・課題に沿った文献を見つけられるとレポートが進み
やすい。文献を読んでみて、文章の全体の流れをイ
メージしながらノートにまとめてみる。だいたい6段
階くらいになるようにまとめていた。まとめた後、な
んとなく文字数にあわせ下書きしてみる。それで調整
する。
- ・不合格で返却された時はショックをうけるが、総評を
読むと、課題のポイントがずれているので、それにあ
わせて、前向きな気持ちで書くようにする。どうして
もわからない時は、友達にどんな風にしたら聞く。

